

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需			公的関与		5		作成日	30年 6月 25日			
事務事業名		敬老経費							シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち							課名	長寿福祉課		係名	高齢福祉係
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる							シート作成者				
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進							予算費目	会計	一般		
										款	3		
主要施策	⑤ 生きがいづくりと社会参加の促進							項		1			
								目		2			
個別計画名		高齢者福祉計画、介護保険事業計画											
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）								
	75歳以上の高齢者				高齢者に対し、地域で長寿を祝うとともに地域コミュニティを推進し福祉の増進を図る。								
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		敬老事業・・・敬老行事を自治会で開催した際の経費及び地域見守りのための状況把握を行う経費に対し、補助金を交付する。											
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 24年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし											
根拠法令・要綱等		東員町敬老行事補助金交付要綱、東員町長寿祝金等支給要綱											
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		0			4,561			5,988					
財源内訳	国庫支出金	0			0			0					
	県支出金	0			0			0					
	地方債	0			0			0					
	その他特定財源	0			0			0					
	一般財源	0			4,561			5,328					
直接事業費（千円）A		0			4,561			5,328					
人件費（千円）B		0			0			660					
内訳	一般職員（人・千円）	人	0		人	0		0.10人	660				
	臨時職員（人・千円）	人	0		人	0		人	0				
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度	31年度				
						目標	実績	(目標)	(目標)				
	①	敬老行事出席者及び地域見守り状況把握数				人	3,406	3,139	3,500	3,500			
	②												
③													
説明													

事業名	敬老経費	シート作成課	長寿福祉課
-----	------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	福祉部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者の福祉増進、社会参加へのきっかけにもなり、地域コミュニティの推進にも寄与してきたと考えますが、現在では役割を代替する事業を推進しており、一定の役割は果たしたものと考えます。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	敬老行事についてはこれまで地域見守りや支えあいの役割も担っていましたが、現在では役割を代替する事業を推進しており、一定の役割は果たしたものと考えます。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	身近な地域での敬老行事開催により、参加者の増加が図られ、また、敬老行事に参加できない高齢者の状況把握により、地域見守りにつながるなど十分に目的を達成してきたものと考えます。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	身近な地域での敬老行事開催により、参加者の増加が図られるなど、効率的に実施してきました。

本事務事業の実施適切性の説明

身近な地域で敬老行事を開催することにより、参加者の大幅な増加を図ることができました。敬老行事に参加できない高齢者の状況把握により、地域見守りや高齢者の支えあいを深める効果もあり、これまで事業を進めてきました。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	2	4	4	(8) B	(7) A
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
今後の改革・改善目標	敬老行事については、これまで高齢者を敬う会として、また、参加できない高齢者の状況把握により、地域見守りにつながる等の役割も果たしてきましたが、近年では生活支援体制整備事業など他の事業により、高齢者を支える地域の支えあい体制づくりを進めています。このようなことから一定の役割は達成したものと考えられ、終期を定めて事業の見直し、廃止を検討する必要があると考えます。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		3	3	4	4	(8) B	(7) A
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
コメント	役割を代替する他事業があるため見直し等の必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		